

**熊本市動植物園マスタープラン（素案）に係る
パブリックコメント後の素案の修正について（案）**

1. 意見募集期間

令和元年（2019年）12月25日～令和2年（2020年）1月24日

2. ご意見の提出状況

意見を提出された方の人数 14 名

意見の件数（まとめりごと） 44 件

3. ご意見を踏まえて素案を修正した箇所

項目	ご意見	変更点
第3章 9. 「驚きと新たな発見！いきものミュージアム」	日本庭園の樹木の整理（間引き、剪定）は必要最小限にとどめるべきと考えます。	素案 P.18 <u>下線部</u> を追加する 日本庭園の樹木の整理（間引き、剪定）を必要に応じて行い、見通しを確保するとともに、四季を感じられる風景を作りだす。
	「動物資料館で繁殖した水生生物を放流する」については、人工繁殖に使用できる親の数が少ないはずなので、遺伝子には偏りがあると思われます。	素案 P.28 「動物資料館で繁殖した水生生物を放流する」に関する記述を削除する。
第3章 12. 「愛され続けるための運営体制の強化」	新たな来園者確保の手法の一つとして、動植物園で、写真や絵画コンクールなどの文化活動を積極的に行うことが必要ではないか。	素案 P.52 <u>下線部</u> を追加する 一方、夏季や冬季の閑散期対策として、 <u>集客の見込めるスケッチ大会などのイベントに加え、家族連れ以外のターゲット獲得のための・・・。</u>

4. 項目ごとの主なご意見

項目	主なご意見
第2章 8. マスタープランのコンセプトとテーマ	<ul style="list-style-type: none"> • 動物園に関して最も重要なことは、園内にいる動物にとって最も自然に近い環境を作り出すことだと思う。
第3章 9. 「驚きと新たな発見！いきものミュージアム」	<ul style="list-style-type: none"> • 「動物園エリア」と「植物園エリア」を一体化した方がよい。
	<ul style="list-style-type: none"> • 動物や植物を尊重する展示や説明を期待します。
	<ul style="list-style-type: none"> • 動物や植物の詳細な情報をスマホで見られるようにしてほしい。

（裏面へつづく）

<p>第3章 9. 「驚きと新たな発見！ いきものミュージアム」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 野鳥に対する配慮を考えてほしい。
<p>第3章 10. 「江津湖との調和。 水辺動植物園を再び」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 動植物に関する地域の問題を展示してほしい。 • 子どもたちの環境学習の場として、有効活用すべき。 • 江津湖の現状を理解してもらうために、在来種だけでなく、外来種の展示もお願いしたい。
<p>第3章 11. 「優しさと魅力あふれる 動植物園づくり」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 来園者向けの施設改修は、トイレや危険な園路のような最低限で良いと思う。 • 災害時に被災地の子どもを動植物園へ案内するか、避難所に移動動物園を行い、安らいてもらう。 • 遊戯施設の新規導入については、スペースを集約すべき。 • 絶叫系の遊戯施設は、動植物園の趣旨にそぐわない。 • バイキングとディスクオーを復活させてほしい。
<p>第3章 12. 「愛され続けるための 運営体制の強化」</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 歳入の確保については、入園料改定を検討すればいいと思う。 • マスメディアを使った、より積極的なPR活動が必要である。 • 動植物園の情報をインターネットで発信し、子供たちに身近な動植物園にしてほしい。